

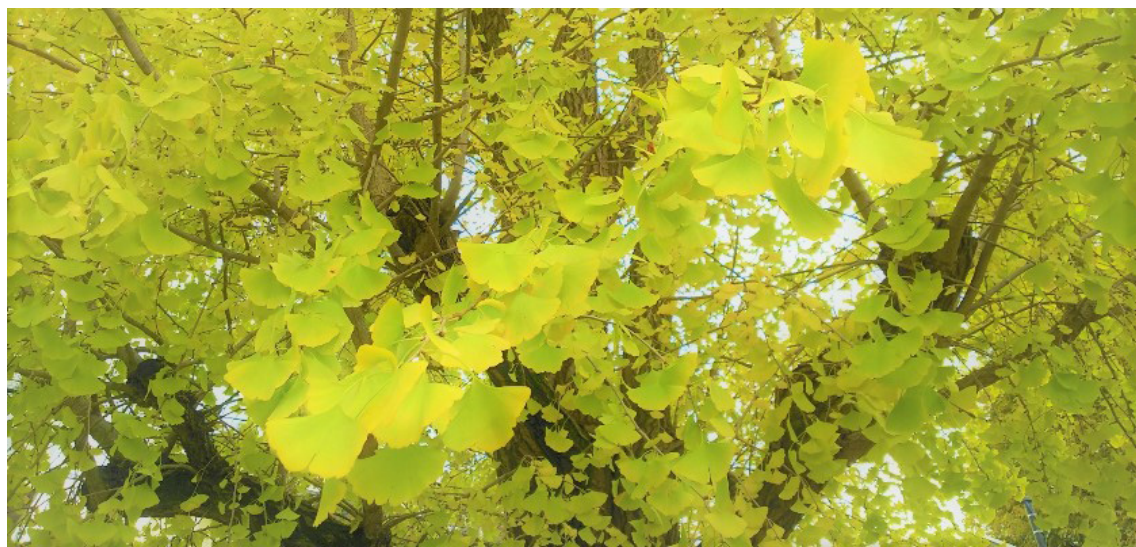


(設立20周年記念号)

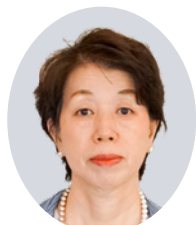
いちょうの会

神奈川県在宅保健師会会報

令和3年9月



会長あいさつ



神奈川県在宅保健師会 いちょうの会

会長 志賀 愛子

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

令和2年の年明けから始まった未曾有の新型コロナウイルス感染症は、令和3年7月15日現在も、まだ収束の方向は見えず、4度目の緊急事態宣言が発令されたところです。ワクチン接種が始まったとはいえ、変異株の出現等で感染拡大は続いております。

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」は、昨年11月で発足して20周年を迎えました。本来なら、令和2年11月18日に設立20周年記念式典が開催される予定でしたが、残念ながらコロナ禍で20周年記念式典は、中止となりました。

また、研修会・交流会等の主体事業も、昨年からは開催できない状況が続いております。

この20年を振り返ると、会員の皆様、諸先輩方、国保連合会の皆様のご努力とご協力のおかげで、国保連合会事業への協力の他に、会の主体事業としての研修会・交流会、災害ボランティア研修会、健康劇「いちょう座」等の活動にも取り組むことができました。

国保連合会による市町村への保健事業支援事業も、順調に推移してきており、さらに生活習慣病対策の重要性が高まる中で、市町村からの支援の要望も増えていることから、今後は、減少傾向にある会員数をいかにして増やしていくかが喫緊の課題となっております。

これからも20年間ご支援いただいた関係者の皆様に感謝しつつ、県民の健康寿命のさらなる延伸に向け、会員の皆様と一緒に有意義な活動を進めてまいりたいと思います。また、「いちょうの会」が更なる発展を遂げられるよう、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



神奈川県国民健康保険団体連合会

理事長 内野 優

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の皆様におかれましては、保健師としての経験と専門性を生かし、日頃から地域住民の健康づくりをはじめとした保健活動の推進に御尽力をいただき、深く敬意を表します。また、本会が実施する保険者支援事業に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。そして「いちょうの会」設立 20 周年を心よりお慶び申し上げます。

平成 12 年に会を設立されて以降、会が主体となり健康劇や交流会・研修会、災害ボランティア研修会開催など様々な活動を通して最新の知識を自ら学び、会の活性化にも努めていただいております。健康劇については、上演を見た方から「親しみやすく楽しく勉強になった」「特定健診を受けようと思った」などの感想をいただいております、とても有意義な活動になっていると感じます。本会としても、貴会の活動を少しでも支援できればとの思いから健康劇へ補助金を支給できるよう要領の改正等に努め、令和 3 年度より支給開始できることとなりました。

本会の各種保健事業については、会員の皆様のお力添えをいただき、保険者に出向いて活動していただく中で、保険者から「きめ細やかな保健指導をしていただいている」「大変勉強になる」という感謝の声が届いております。

今般のコロナ禍においても地域住民の方の健康保持増進のため保健事業を実施していく必要があり、保険者支援において会員の皆様のお力は、欠かすことのできない大切な戦力であります。このような状況ではありますが、会員の皆様には引き続きお力添えをお願い申し上げます。

最後になりますが、貴会の名前である「いちょう」の花言葉は「長寿」であり、まさに「健康長寿」を目指す保健事業を推進していく存在として、今後の会員の皆様のご活躍とご多幸を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。



神奈川県国民健康保険団体連合会

常務理事 大久保 雅一

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の設立 20 周年、まことにおめでとうございます。

会員の皆様のごこれまでのご尽力に心から敬意を表するとともに、本会の保険者支援業務等へのご協力に深く感謝申し上げます。

市町村等が行う特定健診・特定保健指導は、生活習慣病の予防、重症化の防止、ひいては医療費適正化のために大変重要な取り組みですが、残念ながら本県では実施率の低迷が続いています。そこで令和 2 年度は「健康まつり事業等支援事業」の健康づくりとして、新たに内臓脂肪計を用いて特定保健指導の実施率向上に寄与する取り組みをスタートし、4 名の会員の方にご協力いただきました。住民の皆様も内臓脂肪測定に関心が高く、熱心に参加され、活動していただいた方からも動機付けとして良い事業という感想をいただきました。この支援をさらに促進するため、令和 3 年度から「保健指導の充実支援事業」として実施することとなりました。保健師の皆様の専門知識や経験を大いに活かしていただける活動ではないかと思っておりますので、なにとぞご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、昨年ははじまった新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中、保健事業の実施に影響がでている場面も少なくないと思います。しかし、新型コロナウイルスは基礎疾患を有する場合に重症化する傾向があるとされており、保健事業が担う健康づくりの重要性、必要性が再認識されております。そうした中、健康づくりの担い手として会員の皆様のお力がますます求められてきています。

本会といたしましても、皆様と連携して、保険者の活動を支援してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

祝 辞



国民健康保険中央会

常務理事 中野 透

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」が設立 20 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

会設立以来、会員の皆様お一人おひとりの熱意とご尽力がこの 20 年間の歴史を刻み、今日の会の活動を支えているものと思います。また、会の事務局を担っておられる神奈川県国保連合会をはじめ、神奈川県や県内市町村など関係機関のご理解、ご支援にも深く敬意を表します。

さて、国におきましては、人生 100 年時代を見据えて健康寿命の延伸を図る取組が進められております。加えて、令和 2 年度からスタートした高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施につきましても、実効ある取り組みを進めていかなければなりません。

また、昨今では台風や豪雨による自然災害や新型コロナウイルス感染症等、不測の事態の発生も増加しており、複雑困難な事例への対応も求められております。このような状況にあり保健師等の人材確保が難しい中、地域の様々な事業に長年取組み、経験やノウハウを培われた皆様方のお力が、今まで以上に強く求められております。

貴会におかれましては、主体事業の健康劇に加え、特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業、予防・健康づくり支援事業、保健指導の充実支援事業並びに健康まつり事業等支援事業を通して、国保連合会とともに地域住民の健康づくりに貢献していただいていますことに、深く感謝申し上げます。

今後も地域に根ざした保健活動を継続していただくとともに、これまで専門職として積み上げてこられた様々な経験と技術を活かし、地域づくりの一翼を担っていただきますようご期待申し上げます。

結びになりますが、「いちょうの会」のますますのご発展と会員の皆様方の更なるご活躍とご健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



神奈川県健康医療局

局長 山田 健司

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の設立 20 周年を、心からお祝い申し上げます。

貴会は、平成 12 年の設立以来、神奈川県の国民健康保険の保険者が行う保健事業の推進に大変重要な役割を果たされ、国民健康保険被保険者の健康保持・増進に努められてこられました。これまでの「いちょうの会」の会員の保健師の皆様方のご尽力に、厚く感謝申し上げます。

国民健康保険における保健事業は、この間、特定健診・特定保健指導の開始など、大きく変化してまいりました。国保事業運営においても、保険者機能の発揮が求められる重要な事業と位置付けられ、保険者努力支援制度を通じ、その取組が、国保財政に影響を与えるものとなっています。

そうした中、「いちょうの会」の皆様は、国保連の「特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業」をはじめ、「予防・健康づくり支援事業」「保健指導の充実支援事業」「健康まつり事業等支援事業」への支援を通じ、保健師の担う役割への期待の高まりとともに、そのマンパワーに課題を抱える保険者を、その専門性をいかし積極的に支援していただいております。改めて、その活動に対し、敬意を表します。

県は、平成 30 年度の国保制度改革で国保財政運営の責任主体となりましたが、あわせて市町村の行う糖尿病対策をはじめとする保健事業への支援を積極的に行っております。皆様方におかれましては、今後とも、日頃のご活動を通じて、県の行う取組に対し、ご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、このたびの設立 20 周年を契機に、神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」のさらなるご発展とより一層のご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



神奈川県健康医療局保健医療部

医療保険課長 津島 志津子

国保保健事業の充実を図るため、市町村の強い要望に応えようと保健師諸姉により設立された神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」が20年目を迎え、ここに記念誌が発刊されること、心よりお祝い申し上げます。

いちょうの会は、私達の先輩が、公職を退いた後も県民の健康寿命の延伸のために、市町村の保健事業の支援等について研鑽を重ね、積極的に活動されていると認識しております。その姿勢に、深い敬意を表します。

神奈川県は全国屈指のスピードで高齢化が進んでおりますが、県は、超高齢社会を乗り越え、「誰もが笑っていきいきと暮らし、健康で長生きできる神奈川」を実現するため、食・運動・社会参加の実践による「未病」の改善の取組を進めております。

収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策において保健師は重要な役割を担っておりますが、重症化リスクの高い糖尿病を含む生活習慣病の重症化防止の取組にもつながる、いちょうの会の保健事業の支援活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の下での「未病」を改善する取組そのものといえます。

いま、こうした健康づくりにおける保険者の役割が重視されており、国・県も積極的な役割を果たしつつ保険者の取組を支えるため、保険者努力支援制度によるインセンティブが導入されています。その結果として、交付される公費は、保険料負担の軽減にあてられることから、県民の皆様にとって、健康づくりは、大変関心の高いものとなっています。

県は、平成30年度から国保財政運営の責任主体となり、市町村とともに、こうした取組をさらに積極的に支援していく所存であります。皆様方におかれましては、日頃のご活動を通じて、県の行う取組に対し、ご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」のさらなるご発展とより一層のご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



神奈川県健康医療局保健医療部

健康増進課長 厩 晴美

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の設立20周年を、心からお祝い申し上げます。

また、歴代の会長や役員の方々をはじめ、会員の皆様のこれまでの多年にわたる御尽力に深く敬意を表します。

さて、貴会が設立されました平成12年を振り返ってみますと、介護保険法の施行や地方分権改革など、戦後屈指の制度改革が行われた年でありました。そしてその後も、健康増進法の制定や地域包括ケアシステムの推進などの新たな政策が矢継ぎ早に出されただけでなく、新型インフルエンザの流行や、東日本大震災をはじめとする大規模災害の頻発など、この20年間の保健医療を取り巻く環境の変化は、まさに激変というべき状況でした。

県では「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」の実現を目指して、健康づくり、未病改善に取り組んでおりますが、現在、世界は新型コロナウイルス感染症の流行という大きな問題に直面しています。コロナ禍においては、感染症の拡大防止だけでなく、重症化させないという視点も大変重要となり、従来の取組を、感染を防ぐための「新しい生活様式」と両立させるといふこれまでに経験したことのない難しい課題にも取り組まなければなりません。

これら取組には、これまでの激動の20年を一貫して活動してこられた皆様の豊富な経験と知識が大きな助けになると考えております。

今後とも、日頃の活動に加え、後進の指導を通じて、本県の健康増進施策に対してお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、このたびの設立20周年を契機に、貴会の益々のご発展と、関係の皆様のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



第 2 代会長

北尾 玲子

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」設立 20 周年記念おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら、記念式典が中止になりましたことは、誠に残念でございます。

私は平成 10 年、故濱利子様の後任として国保連合会に入職しましたが、直後から前任者からの引継ぎ事項の 1 つが、「在宅保健師会の設立」でありました。初めて出席した国保中央会の会議の席でも、「在宅保健師会」が未設置の県は、残り少なく神奈川県もその 1 つと言われ、何か肩身の狭い思いをいたしました。

当初、所属で感じた雰囲気では「在宅保健師会の設立」については、いろいろ事情があったのかと思いますが、積極的に取り組める状況ではなかったかと思います。しかし、取り急ぎ他県の保健師会の状況や設立当初の経過などを参考に検討し、在宅保健師の皆様の名簿を作り、在宅保健師会の組織化についてアンケートで、意向を伺いました。その結果、81 名の方々から回答を得て、72 名が組織化の折には入会してもよいとのことでした。その時の平均年齢は 49.3 歳でかなり若い年齢の方々でした。

平成 12 年 11 月には待望の「神奈川県在宅保健師会」が設立されました。

その後、研修会への参加や、話し合いを中心に市町村の健康まつりへの支援活動、神奈川県脳卒中情報システムの協力事業として、脳卒中患者実態調査を 300 件近く実施し、脳卒中の発症、再発予防に関する調査協力を企画できたこと等が、印象に残っています。

以上設立の経緯、設立当初の活動状況等を述べさせていただきました。

最後になりますが、「いちょうの会」の今後益々の発展を心から祈念しております。



第 3 代会長

杉澤 素子

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」設立 20 周年おめでとうございます。

本来ならば会員の皆様、国保連合会そして市町村の方々とご一緒にお祝いをするのを楽しみにしていたところですが、コロナ禍でそれが実施できなかったのは本当に残念でした。

20 年を経過しますと、設立当初のことを知る人は少なくなっております。各都道府県で在宅保健師の会が立ち上がっていく中で、本県でも先輩保健師のご尽力で発足させたご苦労は伺っておりました。会員の確保や名称から始まり、保健事業支援として糖尿病や多受診への訪問指導等、経験豊富な知識、技術を生かした活動は評価されておりました。

活動は積み重ねてきましたが会員同士が顔を合わせる場は唯一総会の時だけでした。設立 10 周年を機に現在の主体事業として交流会・研修会、災害ボランティア研修会、健康劇の上演を実施することになりました。その実現には役員会と先輩諸姉、国保連合会の方たちと検討会を重ね、会員へのアンケートにより賛同をいただき、現在の体制が確立いたしました。おかげさまで会員同士のふれ合いは深まってきたと思います。

市町村の健康づくりも大きく変化し、支援事業も併せて変化し保健師機能の充実が求められています。国保連合会でも時代に即した研修会を企画してくださりありがたく思っております。

今年は皆様にお会いすることがままなりません、コロナが終息した段階でお会いできるのを楽しみにしております。

最後になりましたが、20 周年を迎えられ、活動も充実してこられたのは、ひとえに国保連合会の温かいご支援の賜と心より感謝申し上げますと共に、これからも引き続きのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

歴代会長あいさつ 神奈川県在宅保健師会『いちょうの会』設立 20 周年に寄せて



第 4 代会長

大竹 ひろ子

神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」設立 20 周年、おめでとうございます。

『感染』と言う厚い壁に阻まれ、皆様と集い、喜びを分かち合う式典ができないことは大変残念に思います。

私は平成 25 年に退職を迎え「いちょうの会」に入会し、早々に副会長を仰せつかり訳も分からないなか、会長であった杉澤さんについて 1 からの勉強でした。ちょうど主体事業がスタートした年と重なり、役員会ではかなり事業企画の議論を繰り返しました。その後平成 27 年から 2 期 4 年間会長職を務めさせていただきました。

この紙面をお借りしてその当時の思い出を記してみたいと思います。

主体事業は①「いちょう座」活動、②研修会、③災害ボランティア登録・研修会です。

「いちょう座」による健康劇の上演は大変評判が良く、ユーモアを交えながらも大切なことを教えてもらえるとの感想をいただいていた。座員の数が少ないのが悩みで、いつも同じ人がそろうとは限らないため、本番の日に集まれる人で配役を決め、事前に数回の練習を行い、当日を迎えていました。シナリオも自前の作品ですので、今後興味をお持ちの方は是非協力をしていただけると、大変ありがたく思います。

「災害ボランティア登録・研修会」は当初の考え方は発災時に必要があれば支援活動ができるよう登録制度を作ろうと考えていました。しかし、「いちょうの会」が人材の調整・派遣をする体制が十分とれないこと等から登録制度は作らず、会員各自が居住の地域に応じた活動することとし、その際の基礎知識となる研修のみを継続するという方針転換をいたしました。たとえボランティアと銘打たなくとも、自分が避難した避難所の状況を保健師の目を見て、必要な対応を広げていくことであれば、有意義な活動であると考えたからです。

私が保健師として勤務していた間、県保健師の数は減らされ、いざというときに動くことができるのだろうかと常に疑問を持っていました。それが近年災害やコロナの問題で急に保健師の必要性がクローズアップされてきました。国も初めて減らしたことを認めていますが、保健師活動は一朝一夕にできるものではありません。常日頃から公衆衛生の基本を忘れることなく学び続け、新たな情報を得てブラッシュアップしていくことが必要だと思います。その意味からも、「いちょうの会」の活動の方向性は間違っていなかったと考える昨今です。

歴代役員

年 度	会 長	副 会 長		幹 事						
平成 12 年度	濱 利子	本村 春美	安藤 友子	小野 寛子	窪谷由美子	佐々木静子	鈴木 光代			
平成 13 年度 ～ 16 年度	濱 利子	本村 春美	安藤 友子	小野 寛子	安富トキ子	佐々木静子	鈴木 光代			
平成 17 年度 ～ 19 年度	北尾 玲子	安富トキ子	渡辺 克子	安藤ヒロ子	岡本 稔子	松下 明子	安藤 友子			
平成 20 年度	北尾 玲子	安富トキ子	安藤ヒロ子	岡本 稔子	松下 明子	安藤 友子	—			
平成 21 年度 ～ 22 年度	杉澤 素子	岡本 稔子	西村むつ子	勝部 智子	佐々木光子	鈴木きくよ	長岡 澄子			
平成 23 年度 ～ 24 年度	杉澤 素子	西村むつ子	宮川 るみ	齋藤 千代	佐々木光子	鈴木きくよ	田村美穂子	会 計 監 査		
平成 25 年度 ～ 26 年度	杉澤 素子	大竹ひろ子	鈴木きくよ	荒木 方子	齋藤 千代	田村美穂子	松村 守江	小柳 幸子	高橋 富代	
平成 27 年度	大竹ひろ子	志賀 愛子	齋藤 千代	貝原 和子	小西裕美子	周藤由紀子	松村 守江	荒木 方子	小柳 幸子	
平成 28 年度	大竹ひろ子	志賀 愛子	齋藤 千代	貝原 和子	小西裕美子	白勢貴美子	松村 守江	荒木 方子	小柳 幸子	
平成 29 年度 ～ 30 年度	大竹ひろ子	志賀 愛子	松村 守江	貝原 和子	倉西 邦子	白勢貴美子	鈴木 玲子	荒木 方子	齋藤 千代	
令和元年度 ～ 2 年度	志賀 愛子	齋藤 初代	倉西 邦子	飯村 弘子	白勢貴美子	鈴木 玲子	山口 直美	齋藤 千代	松村 守江	
令和 3 年度～	志賀 愛子	齋藤 初代	倉西 邦子	飯村 弘子	米谷由紀美	戸村 泉	山口 直美	白勢貴美子	鈴木 玲子	

活動のあゆみ（平成 22 年度から現在）

1 写真で見る活動状況



設立 10 周年記念式典後集合写真（平成 22 年度）



平成 23 年度 健康劇 湯河原町



平成 25 年度 主体事業交流会



平成 25 年度 主体事業災害ボランティア研修会



平成 28 年度 主体事業研修会



平成 28 年度 健康劇 二宮町

活動のあゆみ（平成 22 年度から現在）



平成 29 年度 主体事業災害ボランティア研修会



令和元年度 主体事業研修会



令和元年度 主体事業交流会



令和 2 年度 健康まつり事業等支援事業
（保健指導の充実にて集団指導） 海老名市



令和 2 年度 健康まつり事業等支援事業
（保健指導の充実にて内臓脂肪測定中） 二宮町

健康劇「いちょう座」シナリオ （座員作成のオリジナル）

- 1 家族みんなで骨元気！
- 2 あなたの血管、元気？
- 3 特定健診、受けて知ろう自分のからだ
～転ばぬ先の健康チェック！～
- 4 糖尿病予備群。脱出、成功！

活動のあゆみ（平成 22 年度から現在）

2 会員の協力支援状況（国保連合会保健事業）

事業名	年 度	平 成																														令 和				
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3													
健康まつり事業等支援事業																																				
脳卒中患者実態調査事業																																				
糖尿病患者訪問支援事業																																				
多受診者等訪問指導モデル事業																																				
人間ドック受診者訪問指導モデル事業																																				
特定健診未受診者受診勧奨モデル事業※ 1																																				
特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業																																				
特定保健指導支援モデル事業																																				
生活習慣病重症化予防支援事業																																				
予防・健康づくり支援事業																																				
保健指導の充実支援事業※ 2																																				

※ 1 平成 20 年度～平成 22 年度特定健診未受診者訪問指導モデル事業として実施

※ 2 令和元年度モデル事業、令和2年度健康まつり事業等支援事業として実施

令和 3 年度総会 令和 3 年 5 月 31 日(月) 書面開催

議 題

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 令和 2 年度事業実施報告 | 6. いちょうの会会則の変更 |
| 2. 令和 2 年度いちょうの会主体事業会計報告及び
監査報告 | 7. 令和 3 年度連合会事業の拡充等 |
| 3. 令和 3 年度事業実施計画（案） | (1) 健康まつり事業等支援事業（健康劇）の補助金 |
| 4. 令和 3 年度いちょうの会主体事業予算（案） | (2) 「健康測定機器等貸出事業」における新規健康測定機器 |
| 5. 令和 3 年度・令和 4 年度役員改選 | 8. その他 |

議題１～議題６は、議決書集計結果【可：８４名、否：０名、未回答１名】で会則第１０条６項により、過半数を超えているため可決されました。議題７、議題８は、連合会事業等の情報提供のため採決はありません。その他、会員の皆様から意見・感想が多く寄せられました。

令和 2 年度事業実施報告

いちょうの会 主体事業（研修会・交流会・健康劇）の活動

- 令和 2 年 6 月 29 日（月）開催を予定していた研修会・交流会、また災害ボランティア研修会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。
- 健康劇は、保険者から健康まつり事業等支援事業の依頼がなく上演活動等はありませんでした。

いちょうの会設立 20 周年記念式典

- 令和 2 年 11 月 18 日（水）に開催を予定していた「いちょうの会」設立 20 周年記念式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。
- 記念品を会員の皆様に贈呈しました。



国保連合会保健事業 会員の協力支援

1 特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業（7 市 3 町）

項目	在宅 保健師数	延活動 日数	特定健診						特定保健指導						活動支援 総合計
			電 話					合計	電 話					合計	
			本人	家族	留守電	不在	不通		本人	家族	留守電	不在	不通		
合計	10 (実 9)※	159	2,767	1,293	1,866	2,226	572	8,724	267	88	169	156	17	697	9,421

2 生活習慣病重症化予防支援事業（3 市）

項目	在宅 保健師数	延活動 日数	非該当リスク				受診勧奨域者				糖尿病・予備群				保険者強化疾病				活動支援 総合計
			集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	集団	面接	電話	訪問	
合計	3 (実 3)※	51	0	0	118	0	0	0	936	0	0	0	154	0	0	1	85	0	1,294

3 健康まつり事業等支援事業（4 保険者）

健康まつり・健康劇は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止

事業名	保険者	保健師	実績
健康まつり事業等支援事業 (令和 3 年度からは「保健指導の充実支援事業」として独立)	4	4 (実 4)※	9 回

※（実）は実動人員を示す

令和 3 年度事業実施計画

1 いちょうの会主体事業

- (1) 研修会・交流会
- (2) 災害ボランティア研修会
- (3) 健康劇活動

※（1）（2）については、今後の新型コロナウイルス感染状況をみて、開催していくか検討します。

2 国保連合会保健事業の協力支援

- (1) 特定健診・特定保健指導実施率向上支援事業
- (2) 予防・健康づくり支援事業
- (3) 保健指導の充実支援事業
- (4) 健康まつり事業等支援事業

3 国保連合会 在宅保健師研修会

令和 3 年 5 月 31 日（月）開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

4 総会（書面開催）・役員会

5 「いちょうの会」会報発行

6 都道府県在宅保健師等全国連絡会

お礼 前役員さん ありがとうございました。

幹事 白勢 貴美子さん 鈴木 玲子さん
会計監査 齋藤 千代さん 松村 守江さん

新役員自己紹介



副会長 齋藤 初代

昨年度に引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、総会が書面開催となり、それ以降もすべての事業が中止となってしまいました。

今年度も予断を許さない状況が続いておりますが、感染予防策をとりながら事業を実施できることを願っております。

会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

副会長 倉西 邦子

新年度を迎え、引き続き役員を務めさせていただくことになりました。

昨年、今年と新型コロナウイルスで、皆様も毎日、自粛生活の中で頑張っていらっしゃることでしょう。早く、ワクチンが全ての人にいきなり、接種され、以前のように皆様と集まり、健康まつり、研修会、健康劇の活動ができることを祈っています。

今後も会員の皆様のご意見、アドバイスをいただき活動していく所存です。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



幹事 飯村 弘子

昨年度に引き続き役員を務めさせていただくことになりました。昨年はコロナ禍により、あると思っていた会員の皆様との交流での出会いの楽しみや、知識の習得のための研修会のお手伝いが全くなり残念に思いました。

今年度こそ、皆様が会える事業ができることを願いつつ務めさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

幹事 米谷 由紀美

初めて役員を務めさせていただくことになりました米谷（こめたに）です。

入会させていただいて3年です。健康まつり事業でのお手伝い、特定保健指導への電話での利用勧奨など参加とまだまだ新人です。皆様にいろいろな事を教えていただきながら今後の活動に携わっていければと思っています。よろしくお願いいたします。



幹事 戸村 泉

これまで研修会や交流会、いちよう座の活動で多くの知識や情報を得て、有意義に楽しく過ごさせていただきました。お世話になった事に感謝しながら、幹事を務めていきたいと思っております。先輩役員の方々にいろいろと教えていただきながら、会員の皆様のお役に立てよう頑張ります。

よろしくお願いいたします。

幹事 山口 直美

先輩方と共に役員を務めさせていただきます。

振り返るとこの10年、東日本大震災・新型コロナウイルス感染症と、私たちには大きな出来事がありその時代を生きていくことになりました。想定外と称されることが起こる中、「保健師」という役割についても改めて考えさせられます。

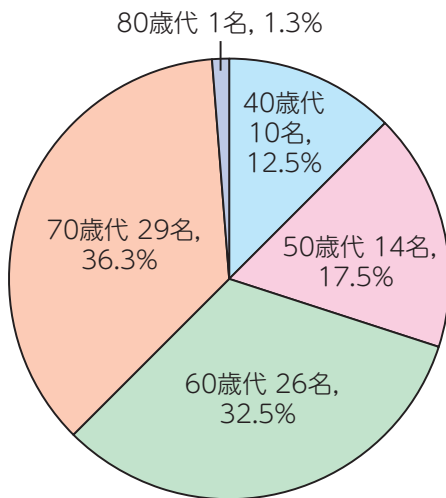
この会を通して皆様と共に「保健師」について考え学んでいきたいと思っております。



会員の状況

会員数 80 名（令和 3 年 7 月末日）

■ 年齢構成（平均年齢 62.7 歳）



■ 居住地別会員の状況

市町村	会員数	市町村	会員数	市町村	会員数
横浜市	17	茅ヶ崎市	4	南足柄市	1
川崎市	4	逗子市	1	綾瀬市	2
相模原市	9	秦野市	3	葉山町	2
横須賀市	3	厚木市	3	寒川町	1
平塚市	5	大和市	2	開成町	1
鎌倉市	4	伊勢原市	3	愛川町	1
藤沢市	8	海老名市	2	清川村	1
小田原市	2	座間市	1	合計	80

あいさつ



露木 美和子



中丸 由美子

令和 3 年 4 月 1 日より保健事業推進専門員として着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



左から 生熊 裕介、井上 伸栄

「いちょうの会」担当です。分からないことやご意見等、会員の皆様のお声をお待ちしております。

- 令和 3 年 3 月 31 日付けで保健事業推進専門員の永井雅子、片岡光枝が退職いたしました。大変お世話になりました。

お知らせ

「いちょうの会」より

- 「いちょうの会」 会員 **募集中!**
皆さんからのご紹介をお願いします。
- 「いちょう座」 座員 **募集中!**
健康教育の一環として保険者に出向き、健康劇の上演を行っています。会員の方ならどなたでも参加できます。ご参加お待ちしております。
- 入会の紹介、座員ご希望の方は、事務局まで連絡をお願いします。

事務局より

令和 2 年度に国保連合会ホームページ「いちょうの会」会員募集を更新しました。右記の QR コードをスマートフォンで読み込んでご覧ください。



連絡先 神奈川県国民健康保険団体連合会
企画事業部 保健事業課
保健事業係 生熊・井上
電話 045-329-3462
FAX 045-329-3444
E-mail hoken@kanagawa-kokuho.or.jp